

ぐるぐるグルドライブクイズR-14「甘利山再訪、からの北杜ジグザグルート」 解答用紙(Excel版)

チーム名	正解	走行日	
ドライバー		ナビゲーター	
賞品 送付先住 所	〒		
	氏名		TEL
ハンドルネーム			←成績表に実名を出したくない場合

黄色部分は必須項目、送付先に記載の方を代表者とみなします

クイズ解答欄

Q-B	目(瞳の大きさ)
Q-C	バラの品種
Q-D	800m-1000m
Q-E	ダイドードリンコ(株)
Q-F	2644m
Q-G	「富士山と甲府盆地の夜景」写真
Q-H	7CPの水車
Q-I	8 or 9
Q-J	左へ2歩 or 左へ3歩
Q-K	側面の外壁上部に「武川村 米の郷」と書かれている
Q-L	9
Q-M	縄文の道
Q-N	豆電球
Q-O	集会所、飼料・肥料倉庫

参加クラス	
使用車	
使用トリップメーター	
トリップメーター表示	

Q-X1	1
Q-X2	7
Q-X3	カブトムシ
Q-X4	八田高明・由利子

ぐるグルドライブクイズRound-14「甘利山再訪、からの北社で歴史を手繰る旅」
最終成績

◆ラリークラス

順位	チーム名	代表者	QA												QB	QC	QD	QE	QF	QG	QH	QI	QJ	QK	QL	QM	QN	QO	X1	X2	X3	X4	レリーフ	小計	総減点	解答受領日
			S 1 /1	1 /2	2 /3	3 /4	4 /5	5 /6	6 /7	7 /8	8 /9	9 /10	10 /F	対面 ダ イ ナ マ イ ト	標高 標 高 掲 示 板	看板 企 業 名	山の 標高差	掲載 漏 れ	水車 水 受 け	村の 表 記	舞鶴 松 写 真	昆虫 オ ブ ジ エ	遺跡 ロ ゴ	案内 図 く ぼ み	小屋 の 用 途	Aの 位 置	鹿 バ ネ ル	昆 虫 見 上 げ								
1	チーム やってもーた！	関 康成	-	4	1	3	2	0	2	2	4	-	1	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	11月12日			
2	食うらん	岸 憲司	-	3	1	1	2	0	2	2	3	-	1	15	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	21	11月16日		
3	チームまさる	岩泉 勝	-	3	0	1	10	0	1	3	1	-	1	20	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	24	11月24日		
4	中古でGO！	長谷部 章	-	3	0	1	2	0	1	3	3	-	2	15	2	0	0	0	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	26	10月8日		
5	DANGAN CLUB	矢木 雅人	-	6	1	5	3	0	2	4	4	-	2	27	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	7	34	11月3日		
6	頭文字J	藤原 啓史	-	4	2	4	2	0	0	4	3	-	2	21	0	0	2	0	0	2	2	1	0	0	2	2	0	2	0	0	0	0	13	34	12月5日	
7	アンドロメダ	泉 直樹	-	10	3	2	3	0	3	3	4	-	2	30	0	0	2	0	0	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	8	38	12月5日		
8	Team Lucky ODA	toshiさん	-	6	2	4	3	0	3	4	5	-	3	30	0	0	2	0	2	2	2	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	11	41	11月18日		
9	TEAMうましか	堀口 泰夫	-	7	2	4	3	0	2	4	5	-	2	29	0	0	0	0	2	2	2	2	1	2	0	2	0	0	0	0	0	13	42	11月15日		
10	キツツキ	田辺 克則	-	6	4	10	10	2	6	4	3	-	2	47	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	2	0	2	0	0	0	0	12	59	11月27日		
11	チーム やま屋	黒田 正彦	-	10	7	10	10	5	8	10	10	-	10	80	2	0	2	2	2	2	2	1	0	0	2	2	0	0	0	0	2	21	101	11月24日		
12												-		0																	0	0				
13			-									-		0																	0	0				
14			-									-		0																	0	0				
15			-									-		0																	0	0				

◆ドライブクラス

1	コロナに負けない ぞー!	青木 岳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	11月4日
2	チームあまぬま	川島 結香	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	2	0	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	9	9	11月22日
3	ねこ金魚	ねこ金魚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	2	2	0	0	0	11	11	12月5日
4														0															0	0	
5														0															0	0	

◆全体

今回は林道が多く中級者以上向けコースだったので参加者数の減少を心配していたのですが、季節のおかげか14台のエントリーがありました。1CPや4CPでは工事車両が多く停まっているところに出くわした方もいましたが、それぞれ自己対処していただき、コースとしてはトラブルなく終えることができました。

成績ですが、今回は距離計測もクイズも難しかったようで、ベテランでも普段より多くの減点を受けた方が少なくありません。そんな中で、距離計測以外のクイズを唯一全問正解した関さんが優勝です。なんとR-13からの連勝です。



◆クイズ解説

Q-A(距離計測)

今回は珍しく大荒れの結果となりました。山道上りが多かったので、FRの特性に皆さん合わなかったのだろうと思います。多くのラリークラス参加者は全区間とも試走車より短い距離になっていました。

一方ドライブクラスでは、3チームとも減点0でした。微妙な距離差のCP間が無かったので、いずれも私のコースを何度も走った方々にとっては簡単でした。

Q-B(対面ドラゴン) 正解率=86%

このクイズのために公園内を歩き回った方もいらしたようです。この相対する壁画、左右対称かと思いきや、よく見ると手足の爪の向きが違ったり雲の位置や形が違ったり、かなりの相違点があります。そこでコンクリート部分以外という条件をつけました。

目の中の瞳の大きさが違っているのですが、多くの方は無事に発見できていました。惜しかったのは、コンクリート部分も含めて複数の相違点を解答された方。条件に合わない解答は正解にできず減点といたしました。



Q-C(ダイナマイト) 正解率=100%

この公園でのもう1問は、展望塔の下にある展示室からの出題を考えていました。しかしそれだと早朝スタートの方が困るため変更することに。代わって、市民の憩いの場にぶっそうなものがある、ということで出題。白い壁、グラウンドを見下ろす角度、背景の山姿、などから場所を推理してもらう設定でした。

結果は全チーム正解！

Q-D(標高掲示板) 正解率=64%

標高200m間隔の標示板は、800m、1000m、1200m、1400mの4つ。試走車での計測距離は右表のようになりました。

難しくない設定のつもりでしたが意外と誤答が多かったです。ドライブクラスの方には50m差を問うのは確かに厳しいのですが、ラリークラスでも4チームが不正解でした。

800m-1000m	1.911km
1000m-1200m	1.966km
1200m-1400m	2.069km

Q-E(看板企業名) 正解率=93%

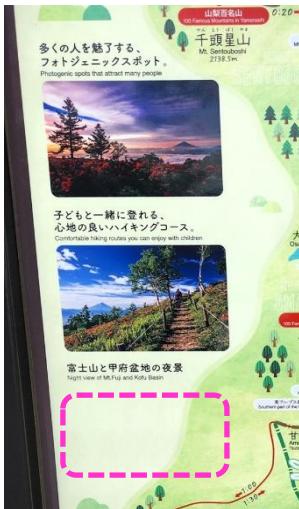
Q-Dで標高を意識して走行しているはずなので、978mはそろそろ出てくると予想できましたよね。殆どの方が正解でしたが、企業名が不正確だった残念な解答が1つありました。



Q-F(山の標高差) 正解率=64%

ちょっと引っ掛け要素のある出題です。この看板に載っている山岳のうち最も標高が高いのは富士山です。標高は書かれていませんが3776mですね。一方最も標高が低いのは荒倉山1132mで、その差2644mが求める解答となります。

誤答で多かったのは富士山ではなく標高の記載のある中で最高峰の観音岳2840mで計算してしまった1708mでした。



Q-G(掲載漏れ) 正解率=21%

今回高難度の問題となりました。案内図の左端に写真とタイトルが載っています。が、一番下はタイトルだけで写真が載っていません(左の写真の点線枠)。写真掲載用にスペースを空けてあるように見えます。上の2枚はタイトルと写真内容が一致しているので、一番下はタイトルだけで対応する写真がないのは明らかに不自然です。

「南アルプス市」は英語表記があるのに日本語がなく、これも掲載漏れの可能性がありますが、「明らかに」という点で写真掲載漏れを差し置いてこちらに軍配を上げるわけにはいきませんでした。また注意書きの類いやあった方が親切という表記は、明らかに写真が漏れていることに比べると「掲載漏れ」とは言えないでしょう。



↑ 5CP水車の里の水車

Q-H(水車水受け) 正解率=14%

今回最高難度の問題となりました。左右の写真を見比べてください。7CPの水車は水受けがV字型に組まれており、2枚の板で構成されています。水受けの数なら同数なのですが、水受けの板の数を問うているので、7CPの水車が倍の枚数になっています。問題文と水車の構造の両方に注意を向ける必要がありましたね。



7CP自然公園の水車↑

Q-I(村の表記) 正解率=36%

右の写真のように9か所ありました。見落としやすいのが武川村農産物センターの写真およびイラスト内の看板。ここにも「村」となっています。ただし写真内は問題文の「表記」にあたるのかあいまいなため、8か所でも正解としました。



Q-J(舞鶴松写真) 正解率=93%

先代の舞鶴松と現在を見比べてほしくての出題です。作成当初は左へ2歩を正解としていましたが、その後撮影の立ち位置は左右に30cmほどずらしても正解の範囲と見えることに気が付き、その結果左へ3歩も正解に加えることにしました。皆さんの解答も、ほぼ半々に分かれていました。

今回の参加者の中には、先代の舞鶴松を生で見た方がおられ、庭園の整備状況を含め衰退ぶりを感じたということでした。

Q-K(村の名残) 正解率=86%

正面から向かって建物の右側面の外壁に「武川村 米の郷」と大きく書かれていました。建物以外の箇所を指摘した方は、残念ながら題意に合わないので不正解です。



Q-L(ゲート上の昆虫オブジェ) 正解率=57%

駐車場出入口のゲートの支柱(左写真)に、左右それぞれ3匹ずつ(鳥は昆虫ではありませんね)、そして30mほど離れたところにある歩行者用のゲート上部(右下写真)にも3匹、合計9匹ありました。

この歩行者用の小さいゲートを見落とした方が結構いました。出題写真にも奥の方に小さく写っているんですけどね。



Q-M(遺跡ロゴ) 正解率=71%

とても特色のある遺跡で、雄大な眺めを含め気に入ってくれたと思います。出題したロゴの説明は現地では見当たらず、皆さんにこの遺跡の特徴から推理してもらう出題としました。中の展示を見ると、道の遺跡が住居跡とセットで発掘されるのは全国的にも稀で奇跡的だと解説されています。このことから縄文の道をあしらったと考えるのが最も自然です。

解答に「道」が含まれていても、「遺跡」や「跡」など縄文の道を示す表現が付いていなければ不正解としました。

Q-N(案内図くぼみ) 正解率=93%

この案内図自体は情報量が少なく、なかなか面白いクイズを思いつきませんでした。出題したくぼみより先に、板で塞がれた手前の部分はひょっとして操作盤があったのではないかと気になり、ならばその痕跡が残っているだろうと目を凝らしてようやく小さくくぼみに気が付きました。

予想より正解率が高かったです。豆電球、ランプ、など小型で発光するものであれば正解としました。



Q-O(小屋の用途) 正解率=43%

清里開拓の遺構ともいえる小屋です。元々集会所と共同作業所で構成されていたことが分かります(右写真の1行目)。その後の文章で、集会所は昭和55年まで使われ、作業所は昭和30年代に飼料・肥料倉庫に変わったことが分かります。

飼料・肥料倉庫だけを回答した方が多く、集会所として使われ続けたことを見落とされた方が半分以上いたことに驚きました。最後の問題なので疲労から読解力が落ちていたのかもしれませんね。



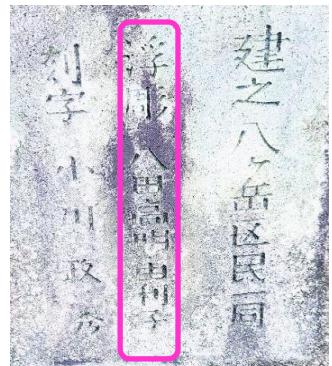
Q-X(Aの位置、鹿パネル、昆虫見上げ、レリーフ) 正解率=100,93,100,93%

今回のX問題は簡単だったようで、いずれも高い正解率となりました。X1はスタートの駐車場に面した土手にありました。Aは4文字ありますが、外灯の影がこの角度で重なる可能性があるのは1文字目のAのみです。この出題を思いついた時にはニンマリしたのですが、全員正解で複雑な気持ちです(笑)。

X2は簡単でしたね。9CPみずがき湖展望台にありました。

X3はアングルを工夫して難しくしたつもりでしたが、皆さんには通じず全員正解されてしまいました。

X4はゴール横にあり見落とすことはなかったでしょう。レリーフが埋め込まれた碑の裏面に彫った人の名前がありました。このレリーフに彫られているのは安池興男氏で、奥多摩湖に沈んだ小河内集落の住民に清里入植を世話し、その後も私財を投じて彼らを援助した清里の功労者です。



向かって右三分の一が集会所、左三分の一が共同作業所です。集会所は農事組合、部落会を始めこの地域一帯の各種会合に利用されました。
昭和五十五年、隣接の興民館完成により、その努めを終えました。
作業所は当時の生産物であつた米、麦、唐モロコシ、ソバ等の精米製粉場として大変重要な施設でした。五馬力の大きなモーターを中心に行き各機械が備えられた様子は、当時唯一の工場でした。作業は主に地区の青年達が懸命に働き、厳しい時代を乗り越える事が出来ました。昭和三十年代に入り、生産物の変化と機械の老朽化により作業を中止、その後飼料・肥料倉庫に変わりました。

所です。集会所は農事組合、部落会を始めこの地域一帯の各種会合に利用されました。
昭和五十五年、隣接の興民館完成により、その努めを終えました。